

平成29年度 第10回タウンミーティング（赤沢） 意見及び市回答

日 時 平成29年9月14日（木） 午後7時～午後8時40分

場 所 生涯学習センター赤沢会館 3階大会議室

	意見	市回答及び対応
1	<p>土砂災害特別警戒区域の制度及び指定の解除について</p> <p>土砂災害特別警戒区域では家を建て替えることについても制約があり、資産価値も下がってしまいます。土砂災害特別警戒区域には国道や旧道、伊豆急行の鉄橋、生涯学習センターなど重要な施設が全て入っています。指定の解除に向け砂防堤の設置を要望していただきたいと思います。</p>	<p>土砂災害警戒区域については、土砂災害から皆様の生命を守るために、土砂災害の恐れのある区域について、危険であることの周知や、警戒・避難体制の整備を進めるために、土砂災害防止法に基づき都道府県が指定するものです。</p> <p>このうち、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）については、急傾斜地の崩壊などが発生した場合、住民の皆様の生命・身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域であり、危険であることの周知、あるいは警戒・避難体制の整備が行われる区域です。</p> <p>また、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合、建築物に損害、損壊が生じ、皆様の生命・身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域です。具体的には、特定の開発行為の制限あるいは、居室を有する建築物の構造が規制される区域であり、家を新築するときに、それなりの強度が必要になる区域となります。</p> <p>静岡県が順次指定をしており、市内全域では平成29年8月現在、全体でイエローゾーンは313箇所、レッドゾーンは275箇所指定されております。</p> <p>本件については、静岡県へ要望しており、地元の皆様のご意見をいただきながら、静岡県とともに進めてまいります。</p>
2	<p>消防団の参加行事及び定員の削減について</p> <p>赤沢区には67戸しかなく、高齢化率が70%という中で、消防団1個分団を抱えるのは大変厳しい状況です。25人の消防団員を維持するために、60歳を過ぎても活動してもらっている状況です。消防団はなくてはならない大事な組織ですが、年をとっても活動しなくてはならない状況の中で、ポンプ操法等様々な行事に参加することは身体的にも極めて大変ですので、消防団の体制を検討していただきたい。</p>	<p>消防団員の確保が大変な状況であることは認識しております。現在赤沢地区の小中学生は8人であり、今後分団の維持そのものが難しい状況となります。団員の皆様の声を伺いながら、定員や活動の削減等について考慮するとともに活動の支援を検討してまいります。</p>

平成29年度 第10回タウンミーティング（赤沢） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
3	<p>国道135号歩道整備について 歩道上で草木のはみ出しにより危険な箇所がありますので、整備をお願いします。</p>	<p>引き続き所有者へ適正管理をお願いするとともに、対応できるものについては進めてまいります。</p>
4	<p>赤沢三島神社裏側のガードレール延長について 生涯学習センター赤沢会館横の市道は非常に急な坂道でカーブもきついため危険です。安全対策のためガードレールの延長、さらにはカーブの拡張や神社との境に強固な壁を造るなどの対策をお願いします。</p>	<p>ガードレールの延長については、設置の手配が済んでおります。また、当該路線のカーブの改良につきましては、危険度及び交通量等を考慮し検討してまいります。</p>
5	<p>旧道赤沢橋脇の落下防止柵設置について 市道草崎線第2赤沢橋の赤沢側2箇所に落下防止柵がありませんので設置をお願いします。</p>	<p>現場を確認の上、対応を検討してまいります。</p>
6	<p>浮山防災広場のトイレ改修について トイレが老朽化しているため、改修をお願いします。</p>	<p>浮山防災広場のトイレの所有者が赤沢区であり、かつ、土地所有者の了解が得られれば、「伊東市魅力あるまちづくり事業補助金」の「まちづくり事業」として、補助率2分の1、上限50万円の補助対象となりますので、ご利用ください。</p>
7	<p>映画観賞会用DVDの貸出しについて 赤沢会館の利用が少ないので、高齢者のために映画会を月に1、2度開催しています。お年寄りの外出を促すことにもつながると思い試みています。DVDを借りたいのですが、著作権の問題を理解した中で、市で共有できるようなDVDを集めて貸し出していただけると助かります。</p>	<p>図書館では貸出しする権利の付いたDVDを購入し、個人向けに貸し出していますが、上映目的での貸出しは著作権侵害のおそれがあることから実施しておりませんのでご理解願います。ご要望については承りましたのでどのような対応が可能か、方法を調査・検討してまいります。</p>
8	<p>空き家の有効活用による地域振興について 各地で増加する空き家と遊休農地を組み合わせ貸し出すことで、田舎暮らしに憧れる人を呼び込み、地域の活性化につなげることができるのではないのでしょうか。</p>	<p>空き家対策につきましては、喫緊の課題である老朽化した空き家への対応を進めております。市内に不動産事業者も多いことから、流通に乗り、有効活用できる空き家物件については、空き家バンクの創設等市の取組は行っていないませんが、ご提案の方法については可能性を検討してまいります。</p>

平成29年度 第10回タウンミーティング（赤沢） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
9	大規模太陽光発電施設について 八幡野の大規模太陽光発電施設の現状について説明をお願いします。	事業者に対し住民の皆様の意見や思いを十分に酌んだ事業でなければならないと伝えてあります。本市としては懸念事項が払拭されたとは思っておらず、これからも事業者には住民の皆様に対し誠意ある対応をするよう申し入れてまいります。
10	海洋深層水の積極的な活用について 市や市内事業所に、海洋深層水を積極的に活用していただきたいと思います。	様々な事業所の商品で海洋深層水を利用しており、本市でも本年度から開始したふるさと納税の返礼品にも利用しています。海洋深層水は本市の地域資源の一つと考えており、今後も積極的に利用の促進を図ってまいります。
11	大規模太陽光発電施設について 当該事業は区民の生活にとって重要なことなので、早めに情報が欲しいです。また当該事業者の経営について不安があります。	当該事業への対応については慎重に進めております。重要なことは早めにお知らせすべきであり、今後努めてまいります。
12	赤沢漁港について 港の中に、砂・石が溜まってきており、潮が引くと船のキールが当たってしまいます。数年に1度浚渫してもらっていますが、早めの対応をお願いします。 また、堤防にあるテトラが台風のたびに堤防を乗り越えて港の中に入ってくるので、もっと大きなテトラの設置をお願いします。	現場確認の上、対応を検討いたします。
13	大規模太陽光発電施設について 当該事業への反対運動に対して、どのようなことを期待しているかお伺いします。	主張をしっかりと伝えていただくことを期待しています。
14	自主防災会の活動について 分譲地は自治会がなく、行政区にも属していないため、自主防災会がまとめ役となっています。定住者で自主防災会会員であれば人数の把握は可能ですが、定住者でも非会員の人と、定住していない人は管理できません。災害時の被災人数や状況の報告方法や範囲について教えてください。	赤沢区内の指定避難所である「赤沢会館」や、広域避難場所「八幡野小学校」に避難された人については被災者台帳で把握することができます。また、自主的に避難する場所があった場合には、支部員（市職員）を通じてやり取りをしていただくこととなります。

平成29年度 第10回タウンミーティング（赤沢） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
15	<p>国道135号交差点について</p> <p>市道から国道135号へ出る交差点に設置されているカーブミラーの見え方がおかしいようなので、確認をお願いします。</p>	<p>市道から国道に出るために設置したカーブミラーですので、現状を確認し、必要があればミラーの交換をいたします。</p>
16	<p>土砂災害特別警戒区域について</p> <p>赤沢地区はこの規制により新たに家を建て地域を守ることができなくなり、いずれ地域の消滅に繋がっていきます。地域の危険性を教えていただくのはありがたいが、規制をかけられることは迷惑だと思います。</p> <p>また、規制をするということは、この地域の固定資産評価の見直しはしますか。当然、土地の評価は下がりますね。</p>	<p>平成11年の広島で起きた土砂災害がきっかけとなり、国としては国民の生命を守るために厳しい基準を設けていると認識しているところです。土砂災害警戒区域になりますと、宅地建物取引において、警戒区域であることを説明する必要が生じます。固定資産税の評価につきましては、実勢価格をもとに固定資産税の評価が決まるので、実勢価格が下がればそれに連動して固定資産税の評価も下がります。</p>
17	<p>別荘地のごみの収集について</p> <p>別荘地ですが定住者も多くなっているので、市のごみ収集車で回収していただきたい。</p>	<p>分譲地については、補助金の交付要件を満たす場合に補助金を出すことは可能ですが、直接収集することは現状の市の財政力から難しいと考えております。</p>
18	<p>旧道の防犯灯について</p> <p>旧道に防犯灯がなく、災害時や防犯上不安がありますので、設置をお願いします。</p>	<p>防犯灯は防犯上や危機管理の面でも必要ですが、現状の制度では地元の町内会・自治会で設置・管理をお願いしており、本市では町内会等が防犯灯をLED化する際に補助を行っております。</p>
19	<p>大規模太陽光発電施設について</p> <p>何よりも市民の生命と財産を守るという一点で、八幡野の大規模太陽光発電施設建設はあってはいけないと思います。住民も頑張りますので、市長も決意を持って頑張ってくださいと思います。</p>	<p>地域の皆様の生命財産を守ること、それから伊東の価値についても十分承知しており、これからも事業者には住民の皆様に対し誠意ある対応をするよう申し入れてまいります。</p>
20	<p>大規模太陽光発電施設について</p> <p>伊東の自然の素晴らしさは、伊東の価値であると思います。ダイビング、シーカヤック、山登り、大室山など伊東には体験型の自然が豊富です。将来、白紙撤回が成功したとして、ただ反対す</p>	<p>当該事業については本当に多くの皆様からご意見をいただいております、本市の素晴らしい自然を財産として守っていくことを強く決意しております。</p> <p>観光地として本市の素晴らしい自然を生かし、宿泊だけでなく体験や文化・自然を楽しんでいただくメニュー作りを進めております。</p>

平成29年度 第10回タウンミーティング（赤沢） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
	<p>るのではなく、未来の伊東の自然を守るための姿勢を見たいです。太陽光は自然エネルギーであり悪いことではないが、正しい設置の仕方は山を伐採することではありません。若い人たちが住みたいと思うような伊東となるよう自然を守り生かしていただきたい。</p>	
21	<p>移住者にとっても魅力的な伊東市に 伊東市の自然は素晴らしく、市民の皆様もとても優しく温かく迎えてくださって素晴らしいところだと思っています。移住者の視点ですが、今後も観光だけでなく移住者にとっても魅力的な伊東であってほしいと思います。</p>	<p>本市の持つ様々な魅力を磨き、効果的に発信することで、皆様にとって魅力的な伊東市となるよう進めてまいります。</p>
22	<p>大規模太陽光発電施設について 移住や観光にとって大規模太陽光発電施設の影響は大きく、市長の話を心強く思っていますが、事業者にとってのリスクを考慮するとはどういうことでしょうか。</p>	<p>事業者が白紙撤回しない理由として、当該事業に多額の投資を行ったためだとしており、そのようなことに対しリスクを背負っているとお話ししました。ビジネスである以上、先行投資が成功することも失敗することもあり、それをどのように解消するかという心配があるということです。</p>
23	<p>伊東のためにできること タウンミーティングでは若い人の意見があまりなかったように思います。インターネットを使って若い人の意見を収集することも方法の一つだと思います。 草刈りが必要なときはボランティアを募集して若者に手伝ってもらったらどうでしょうか。 伊東自然歴史案内人は移住してきた人が多いようで、地元の人もう少し頑張っていたらと思います。</p>	<p>貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
24	<p>伊東市土地利用事業等の適正化に関する指導要綱について 当該指導要綱に太陽光発電施設が加わりましたが、法的規制もないとのことで正直な企業しか出さないような状況だと思いま</p>	<p>当該指導要綱については行政指導にあたりますので、法的な強制力があるものではありませんが、圧倒的多数の事業者はこの要綱に従って事業を進めています。 また、太陽光を追加しましたが、その前に事前申請を出していた事業については、法律</p>

平成29年度 第10回タウンミーティング（赤沢） 意見及び市回答

	意見	市回答及び対応
	<p>す。大規模太陽光発電施設ができた場合、指導要綱の効力がなくなるのではないかと、そのあたりをどう考えているかお聞きします。</p>	<p>の原則として不遡及になります。</p>
25	<p>海岸の公衆トイレについて 夏場は海水浴客が増え、外にある水道をたくさん利用するので、水が浸透しきれず駐車場の奥の方に流れ水浸しになってしまうので対応をお願いします。 また、シャワーとして使ったり、ポリタンクにためて水を持っていく人もいるようなので対策を取っていただきたいと思えます。</p>	<p>現場を確認の上、対策方法を検討いたします。</p>
26	<p>同報無線について 山の別荘地であり同報無線が聞こえないため対応をお願いします。</p>	<p>同報無線は屋外拡声を主としており、位置によっては放送の聞き取りが困難な場所もあります。難聴地域に対してはスピーカー角度や音量の調整を検討してまいります。 なお、伊東市のメールマガジンにご登録いただくと、放送する内容が携帯電話等のメールに届きますのでぜひご利用ください。</p>
27	<p>移住者と地域住民との関係づくりについて 伊東に魅力を感じ移住してくれる人がいるおかげで病院も維持でき大型店も整備され、私たちも便利な暮らしができています。 責任や義務などに対する考え方の相違はあるかもしれませんが、移住者と地域住民とのより良い関係づくりを進めることが大事であると考えます。</p>	<p>人口減少が進む中で、従来の行政区（15区）と別荘地自治会との更なる交流により、活力ある地域づくりを進めていくことが必要と考えますので、まずは地域における交流を進めていく中で融和を図っていただき、必要に応じ、行政が行政区と分譲地自治会との交流の橋渡しをすることも検討したいと考えています。</p>